

## 多世代交流事例

### ・多摩の居場所ふらっと（多摩区）

多摩区まちづくり協議会のプロジェクトのひとつで、「世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくろうプロジェクト」という活動がはじまり、毎月第4土曜日に街の中でホットできるところ、誰でもが自由に立ち寄れる場「多摩の居場所ふらっと」をオープンしました。また、月1回「コミュニティサロン」を開催、サロンの情報を広報紙「COSMOS」を発行して発信、年3回車座勉強会を開催し地域を学ぶ活動をしています。

### ・小倉の駅舎陽だまり（幸区）

<http://www.kawasaki-shakyo.jp/saiwai/12000/>

幸区小倉に、本会第2期地域福祉活動計画の新規事業のモデル地区として、住民交流活動拠点を開設しました。名称は一般公募により小倉の駅舎「陽だまり」と決まり、誰もが気軽に利用し、活動しながら、出会い・ふれあい・支えあい・学びあう、集いの場として、乳幼児から90歳代の方まで、世代を超えた多くの地域の方々に利用していただいております。

### ・赤ちゃん銭湯でコンニチワ（幸区）

日赤奉仕団が区内の銭湯で、赤ちゃんを連れてお母さんが子どもを預けてゆっくり入浴できるような場づくりを支援。

### ・もみじ合の地域の大広間（札幌市）

多世代交流を目的とした交流イベントの事例です。少子高齢化の進む郊外住宅地で、世代交流と各種団体の連携のきっかけづくりを目的として開催しています。

### ・石山地域食堂（札幌市）

いしやま地域食堂運営委員会が、倉庫を改造し、高齢者や子育て中の母親などが気軽に利用でき、地域交流の場となることを目的とした「いしやま地域食堂」を開店しました。

### ・むくどりホーム（札幌市）

「障がいのある人もない人も赤ちゃんからお年寄りの人まで、みんなで交流しましょう」「お互いに違いをみとめあい、理解しあいましょう」をテーマにむくどりホームでは、わらべうた、アロマでリラックス、点字、話し合いの会、読み聞かせなど様々な活動をしています。

# プロジェクト活動報告

## 地域にホッとできる居場所づくりを目指して

～楽しく遊んで 助け合う心をはぐくむために～

(世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくらうプロジェクト 代表 久野)

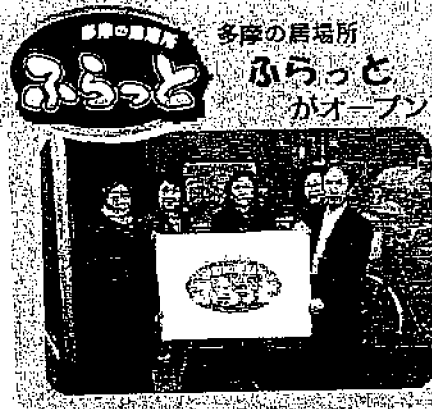
### 1年を振り返って

今年度の活動を振り返ると、プロジェクトの活動が一つの目的に向かって動き始めてきました。メンバーそれぞれの持てる力をフル回転させて地域と連携しました。こども文化センターやわくわくプラザ、小・中学校などと積極的にかかわったことで地域と密着し、さらに目標であったホッとできる快い居場所のオープンに至りました。

活動を通して得たものは大きく次の3点です。

①街の中のホッとできるところ、誰でもが自由に立ち寄れる場「多摩の居場所ふらっと」をオープンしました。(毎月第4土曜日、13～16時)

みんなでワイワイガヤガヤと話し合いながら、この「ふらっと」を育て、子どもたちが元気よく地域を駆け回り、乳幼児を抱えた親子や高齢者が孤立せず、お互いに支え合い助け合うような仲間づくりの



場になっていくことができればと考えています。

②メンバーが得意としていることや、やってみたいことを、協力し合って実現させてきました。

ギョウザ作りやはり絵、お楽しみ会などのコミュニティサロンやわくわくプラザなどでお手玉・紙ヒコーキの昔遊びを行いました。

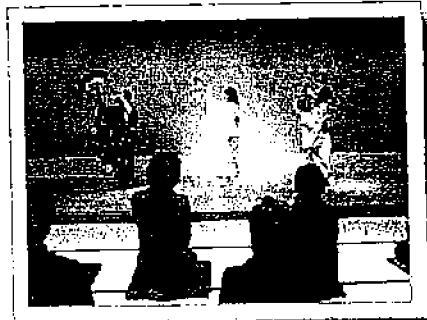
③これまでの小・中学生、高齢世代との交流に加えて、乳幼児とその保護者、大学生、30～40代世代との交流も持つことができ、世代間の輪を広げることができました。

「多摩の居場所ふらっと」は、私たちのすべての活動の拠点となりますので、その充実が来年度の最大の課題です。そのために、メンバー間の目標の共有化と協力体制の強化、地域へのPR活動の活発化、メンバーの増員に力を入れていきます。

### 今年度は地域の人たちと一緒にこんな活動を行いました

いろいろな世代の人たちと交流しようという目的は、この地域に住む人たちと心を通い合わせ、ちょっとした助けが必要になったとき、「手を貸して」と言い合えるつながりを持ちたいという思いからです。

そのために私たちは3つの柱を軸にして活動しています。



サロン員はじめ小学生の女子3人による舞踊「神楽面」おかめとひよつとのお面をつけて…



まちのみんなでお楽しみ会  
8組の親子が参加。ティータイムでは、いつの間にか打ち解けてみんな笑顔で仲良しに…



駄菓子屋さん風景  
「ふらっと」で駄菓子屋を開店!かわいい2人の店長さんが「ちびっこうれしい駄菓子屋さん」という店名を付けてくれました。

世代を超えた人たちが集い、話したり聞いたり、自由に楽しみながら心が和むいい時を過ごす。

月1回開催の「ふらっと」とコミュニティサロンが中心です

# 平成22年度のプロジェクト活動をご報告します

手助けが欲しい人と手助けをしたい人とを結び、情熱しをして、お互いの思いを支え合い、生活を豊かにする

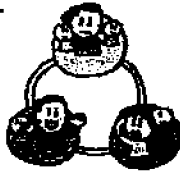
こども文化センターや小・中学校など地域と密着した活動をしています



小学校の社会科見学でこども文化センターを訪れた子どもたち。大学生のお兄さんとコマ回し、うまく回るかな…。



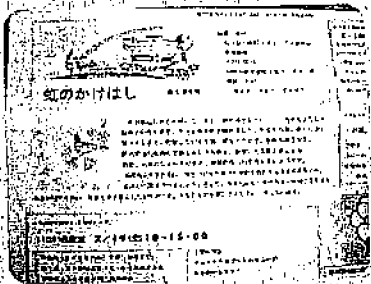
そろそろ蒸しパンが出来たかな？  
10月、生田中学校の「地域の人のちの触れ合いと生徒たちとの相互理解を図る文化体験教室」、60人余りの生徒とメンバー9人が蒸しパン作り。  
「チョコをつまみ食いしたり、パンが焼けたときのおいが忘れられません」と生徒の声。



わくわくプラザでの紙ビコーキ作りと民家園のお話。どちらも真剣な顔、紙ビコーキはとてもよく飛びました。

サロンでの情報を発信しながら、情報交換をして、双方が連携し合い、地域づくりの輪を広げていく

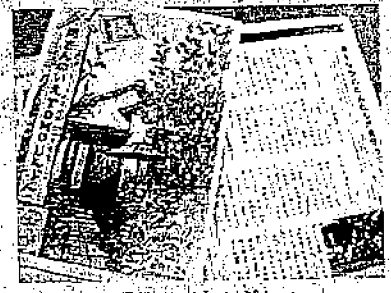
他のグループと意見交換したり、広報紙の交換などを行っています



虹ヶ丘コミュニティだより



広報紙「COSMOS」4号



岡さんのいえTOMOLさん



久野代表

## 『車座勉強会』 3回開催 テーマは「地域のことをよく知りましょう」

「安心して年を重ねるために」

**9月** ケアマネジャーを講師に迎え、地域の現状と何ができるかを話し合いました。地域全体が「助け合い支え合おう」という意識の醸成が大切なことを学びました。

**11月** 地域包括支援センターの方を講師に迎え、センターに寄せられる相談やそれに対する支援などについてお話を伺い、手助けが要る人の実情を学びました。

「子どもたちのことをよく知りましょう」

**10月** 幼児教育に携わっている方を講師に迎え、子どもたちがいきいきと健やかに過ごせるように環境を整えることが「まちづくり」であるとお話を伺いました。

### <平成22年度の活動概要>

- メンバー構成  
まちづくり協議会委員 8人  
プロジェクトメンバー 10人
- プロジェクト会議 月1回 計12回
- 広報紙発行回数 年5～6回
- コミュニティサロン 8回
- わくわくプラザ協力 10回

## (3) 住民交流活動拠点「小倉の駅舎 陽だまり」

## 1. 設置目的

- ・地域住民がいつでも気楽に行くことのできる、身近な交流場所としてのスペースを確保することにより、住民同士がお互いに支えあい、安心して暮らせる豊かな福祉のまちづくりをめざします。
- ・川崎市幸区社会福祉協議会地域福祉活動計画(第2期さいわいコミュニティプラン21)の新規重点事業として位置付けられています。

## 2. 拠点の開設までの流れ

## ● 拠点候補場所の下見

- ・拠点候補地の選定
- ・運営委員会の設置

地区社会福祉協議会(会長・副会長・会計・事務局長)、商店街会長、老人クラブ会長、子ども会会長・地区町内会連合会会長・地区民生委員児童委員協議会会長・地元町内会長 12名

## ● 開所式及び開所

## 3. 利用目的

- おしゃべり、友達に会いに ○コーヒー、お茶を飲み に ○本の貸し出し
- 散歩や病院の途中や帰りに ○デイセンターの帰りに ○昼食を食べに
- 子ども会の作品展示(書道・絵画) ○折り紙 ○尺八、琴演奏で童謡を歌う
- 小学生が宿題やゲームをしに ○花を育てる ○テレビを見る
- 団体利用(老人クラブ、子ども会、ボランティアグループ)

## 4. 「小倉の駅舎 陽だまり」利用状況 (平成19年11月12日～平成20年10月30日)

単位:人

## 1. 利用登録者

|    | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 計   |
|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 男性 | 20  | 38  | 18 | 20 | 12 | 17 | 9  | 21 | 7  | 8  | 4  | 7   | 181 |
| 女性 | 74  | 43  | 58 | 47 | 30 | 37 | 13 | 40 | 18 | 9  | 9  | 12  | 390 |
| 計  | 94  | 81  | 76 | 67 | 42 | 54 | 22 | 61 | 25 | 17 | 13 | 19  | 571 |

単位:人

## 2. 利用者延人数

|   | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 計    |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 計 | 233 | 282 | 359 | 403 | 374 | 417 | 352 | 432 | 406 | 344 | 376 | 439 | 4417 |

3. 1日の平均利用者数 : 18.4人

単位:人

## 4. 利用登録者の年代

| 0-9歳 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 不明 | 計   |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 45   | 17  | 5   | 27  | 31  | 55  | 108 | 194 | 64  | 7   | 18 | 571 |

単位:人

## 5. 利用登録者の住所

| 小倉  | 南加瀬 | 北加瀬 | 東小倉 | 鹿島田 | 日吉地区以外の幸区 | 川崎区 | 中原区 | 高津区 | 宮前区<br>麻生区 | 横浜市 | 東京都 | 不明 | 計   |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|----|-----|
| 399 | 79  | 20  | 2   | 2   | 27        | 11  | 7   | 3   | 2          | 14  | 1   | 4  | 571 |

**CONTENTS**

- 社協について
- 社協からのお知らせ
- 広報紙 「幸区の社会福祉」
- 地区社会福祉協議会
- 移送サービス
- 生活福祉資金
- 福祉バルさいわい
- 老人いごいの家
- 住民交流活動拠点
- さいわいデイサービスセンター
- 河原町ふれあいデイサービスセンター
- 幸区老人福祉センター
- さいわい訪問介護支援事業所
- あんしんセンター
- 各種貸出
- リンク

幸区社協  
ボランティアセンター

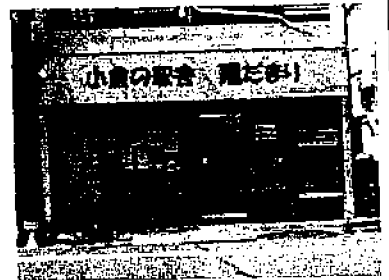
赤い羽根募金

地域福祉課：044-556-5500  
 在宅福祉課：044-556-5535  
 施設事業課：044-541-8000  
 さいわいデイサービスセンター：044-541-8245  
 幸区あんしんセンター：044-556-5082  
 地域福祉課・施設事業課・幸区あんしんセンター FAX：044-556-5577  
 在宅福祉課・さいわいデイサービスセンター FAX：044-541-7611  
 川崎市幸区戸手本町1-11-5

住民交流活動拠点

小倉の駅舎 陽だまり

幸区小倉に、本会第2期地域福祉活動計画の新規事業のモデル地区として、住民交流活動拠点を開設しました。名称は一般公募により小倉の駅舎「陽だまり」と決まり、誰もが気軽に利用し、活動しながら、出会い・ふれあい・支えあい・学びあう、集いの場として、乳幼児から90歳代の方まで、世代を超えた多くの地域の方々にご利用いただいております。



対象

どなたでもでもご利用いただけます。

利用料

無料です。ただし、土・日・祭日は団体貸しとして、若干の利用料がかかります。

開館時間

午前10時～午後4時

休館日

土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始

利用方法

初めての方には、利用証を発行いたします。次からの利用は利用証番号をお知らせいただければ結構です。

陽だまりで出来ること

- おしゃべり、友達に会いに
  - コーヒー、お茶を飲み
  - 散歩や病院の途中や帰りの休憩に
  - 本を読み
  - 借りに
  - 昼食を食べ
  - 折り紙を折
  - 小学生が宿題やゲームをし
  - 花を育て
  - R八、琴演奏で童謡を歌
  - テレビを見
- ※ 趣味の教室として【手芸、こより、俳句、帯結び、書道、お抹茶会、フラワーアレンジメント】を随時開催しています。



高齢者フリーバスの販売

高齢者フリーバスの販売を行っております。是非ご利用ください。

住所：幸区小倉1064-7 MAP

さいわい健康福祉プラザ

老人福祉センター

電話：044-541-8000

FAX：044-556-5577



上の地図をクリックして  
ください。大きな地図が  
見られます。

【お問合せ | 注意・免責事項 | プライバシー・ポリシー】

Copyright (C) 2006 Saiwai ward council of social welfare. All Rights Reserved.